

**計画の概要** これまでの流下能力向上対策による効果は見られるものの、近年の豪雨などにより土砂堆積等が進行し、要対策延長が減少していない。本計画では、**緊急浚渫推進事業債・緊急自然災害防止対策事業債**を活用し、令和4年度から令和7年度の**4か年で集中的な対策**を行うとともに、堆積土砂の発生源対策、モニタリングによる河道管理の最適化等の取組を行うことで、持続可能な河川管理を目指す。

### これまでの取り組み

計画名称	計画期間	計画延長 要対策延長
河川流下能力向上対策計画 (H29.3)	H29~R3 (5年)	160km 518km
河川流下能力向上緊急対策計画 (H31.3)	R1~3 (3年)	220km 381km

H30.8月豪雨  
要対策区間を再整理

▲ これまでの取り組みの効果事例

### 新たな課題

- 近年の豪雨の頻発などによる土砂堆積の進行 (約187km)  
➡ これまで以上の**浚渫・伐採による流下能力対策**が必要
- 浚渫・伐採箇所の再堆積 (約40km)  
➡ **再堆積を抑制するための対策**が必要

▲ 短期間で急速に再堆積した事例

▲ 上流の流出土砂が下流に堆積した事例

### 流下能力の向上・持続化対策計画の概要

要対策区間延長 **388km** ➡ H31計画策定時 (381km) から減少せず  
内訳: ①緊急計画で先送りした区間 (161km) ②緊急計画で実施区間の再堆積 (40km) ③近年の豪雨による堆積進行 (187km)

- ・ 氾濫の危険性の高い**233km**を選定し堆積土砂及び支障木を撤去
- ・ 対策区間上流部への**床止め設置** ➡ 土砂流出抑制及び施設保全対策
- ・ ドローンを活用した河道のモニタリング
- ・ 民間による支障木等の利活用推進

#### 流路保全 (土砂流出抑制対策) 【新規】

- ・ 床止めによる上流深掘れ区間の土砂流出抑制、護岸等の施設保護

(縦断面図) ~これまで~  
深掘れ ➡ 破損  
再堆積

~対策後~  
再堆積の抑制  
床止めにより再堆積を抑制 ➡ 護岸保護

#### スケジュール

	R4	R5	R6	R7
流下能力向上	河道浚渫及び支障木の伐採			
流路保全	床止め設置による土砂流出抑制及び施設保全対策			
ストックヤード	ストックヤード確保			
モニタリング	ドローン等による対策箇所の状況把握			
事業検証	PDCAサイクルによる、対策手法・効果の評価・検証			

#### 河道状況調査費【継続】

- ・ ドローンによる河道状況モニタリング
- ・ 堆積の周期性等を把握等

#### 公募型河床掘削調査費【継続】

- ・ 希望者による堆積土砂の掘削
- ・ 対象箇所の選定、測量費

#### 公募型支障木伐採【継続】

- ・ 希望者による支障木の伐採と利活用
- ・ 伐採費用の一部を助成

#### 流下能力向上対策【継続】

- ・ 河川の流下能力を確保するための堆積土砂の浚渫、支障木の伐採
- ・ スtockヤードの増設